

(別紙1)

尼崎市支え合いを育む人づくり支援事業 教育・研究活動事業実績報告書

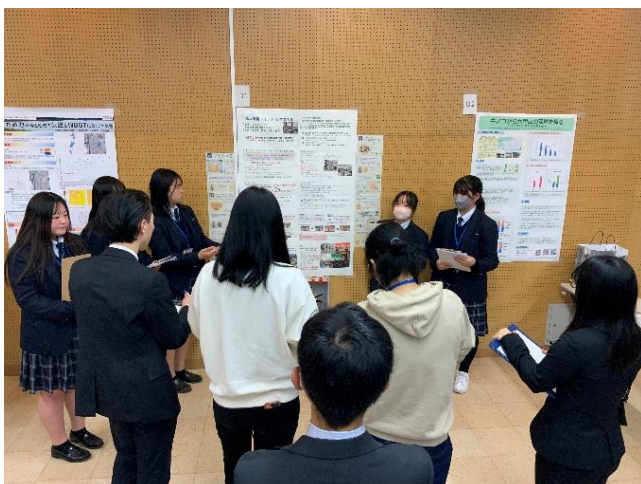
教育・研究活動名	『地域社会貢献活動—高校生にできること』—「防災・減災 災害時要配慮者の支援を中心に特に発達障がいを持つ人との関わり方、防災＆フレイル予防、災害食レシピ・フレイル予防体操の作成」「在宅療養・看取りの地域啓発活動、フレイル予防体操の作成」「子どもの居場所作り、リーフル事業の活用による学習支援&子どもが遊べるイベントの開催」「性暴力—ジェンダー平等」の4つの取り組み			
申請大学・高校等名	大学及び高校等名	兵庫県立尼崎小田高等学校		
	活動グループ名	あまおだ「かんご」	参加学生等人数	31人
指導責任者名及び連絡先	学部・学科等名称	普通科 看護医療・健康類型		
	責任者氏名	福田秀志	連絡先電話番号	
	E-mail			
協働する市民活動団体及び代表者名	団体名	小田地区民生児童委員協議会、		
	代表者氏名	西村由美子	連絡先電話番号	
	E-mail			
教育・研究活動目標	ア：災害時要配慮者の支援について高校生ができることを模索していく。今年が目玉は「防災＆フレイル」をテーマに、高齢者が避難できる身体作りのためのフレイル予防体操の開発と、高齢者が災害時に食べれるような災害食レシピの作成を通して、平時にも意識して災害食を取り入れていく取り組みである。また、災害時の自助・共助、特に簡易トイレの備蓄の大切さの啓発（小学校の出前事業、子どもに対しての減災知識の啓発イベントの開催、あまおだ減災フェスの開催、高齢者の見守り・安否確認、イベントの実施）イ：在宅療養について市役所、尼崎医療・介護連携協議会と協働し、「看取り」について市民に啓発していく。ウ：子どもの居場所づくり（5ヶ所でのイベントの開催、学習支援・リーフル事業の実施（西長洲団地にて）エ：性暴力を通して、ジェンダー平等、包括的性教育の必要性の問題提起			
活動内容及び実績、評価	・尼崎市医療・介護連携協議会、市役所の包括支援担当課、重層的支援推進担当課の協力により、災害食レシピ、フレイル予防体操の開発をすることができた。また、おだ夏祭り、尼崎市民祭り、あまおだ減災フェス、おだ冬祭りなどを通して、減災、在宅療養の必要性について、市民に啓発することができた。能登半島地震の募金にすぐに取り組んだ。（74万、日本赤十字へ） ・園田地区民生・児童委員高齢者部会、尼崎市薬剤師会、在宅療養ワークショップなどで、若年性認知症とアドバンス・ケア・プランニングを柱とした劇の上映、もしばなゲーム、なんじゃもんじゃゲームなどを披露し、多職種連携による在宅療養の可能性について市民啓発を実施できた。 ・「子どもの居場所作り」班では、おだ夏祭り、尼崎市民祭り、アミシング潮江商店街「楽市・楽座」、おだ冬祭り。おだ祭りで親子が楽しめる出し物を実施、11月から月に2回、金楽寺小学校の校区で学習支援を実施、参加者は少ないが、子どもたちは「学習」というより、「ほっとできる空間」を求めて、来ているように思う。 性暴力班は、性暴力を通して、ジェンダー平等、包括的性教育の必要性を導き出し、高校生にできる「包括的性教育」の内容について、「小田祭り」で動画、パンフレットで報告した。			

	4つの活動はすべて、「地域コミュニティづくり」＝人と人との繋がり、地域の活性化が目的であるが、高校生が地域で活動することで、その目標は達成できたのではないかなと思う。 次ページ以降写真データ
--	---

※ 報告書内容及び掲載写真は、市報、HP等の市の発行する媒体への掲載される場合がありますので、事前に学生等の同意を得た上で、提出をお願いします。



- 一番上：左右とも探究応用生徒報告会（1.27）
- 一番上から下：左右とも薬剤師会との協働事業、市民向けワークショップ（1.20）
- 下から2番目左：舞子高校での減災活動の報告（1.12）
- 下から2番目右：ふれあい・支えあい事業反省会（1.10）
- 一番下左：能登半島地震募金活動（1.8）



一番上：災害メモリアルアクション (1.6)

上から2番目：ヘルパーさんとの災害食レシピ作成 (12.18)

上から3番目：立花西小学校での簡易トイレ出前授業 (12.18)

一番下：京都大学にて減災について取り組みの報告



一番上、二番目左：あまおだ減災フェス（ファッションショー、音楽演奏、防災すごろく 11.12）
 二番目右：西長洲団地にて高齢者サロン（11.11）
 下から二番目左：支えあい・見守り事業（11.10）
 下から二番目右：在宅療養市民とともにワークショップ（11.9）



一番上：おだ祭り 性暴力班（左）在宅療養班（右）
 上から二番目：左、園田民生・児童委員高齢者部会（在宅療養班、10.28）右は子ども班（アミング潮江「楽伊比・楽座 10.21」）
 下から二番目：左、尼崎市民まつり、右：フレイル予防体操の考案の介護（月）
 一番下：災害食レシピ作成（8月）